

西多摩医師会報

第61号 昭和52年10月



夕月 川合玉堂

目次

- | | |
|----------------------------------|--|
| 心臓病の救急処置 …………… 広沢弘七郎… 2 | 支那の昔、越王勾踐の臣范蠡は果して悪臣であつたか。そして兒島高德のこと。 江口二三男… 13 |
| 新中国見て歩き (第13回)…………… 加藤 出… 5 | プロ棋士指導碁会 …………… 14・16 |
| オーストラリア、ニュージーランドの旅(2)
高水武夫… 7 | 公衆衛生部よりのお知らせ …………… 松原貞一… 15 |
| 第74回西多摩医師会ゴルフ大会 …………… 8 | 医師会日誌 …………… 16 |
| セイシェル諸島 …………… 岸田壮一… 9 | 東京都医師会医療従業退職金共済制度設立……17 |

心臓病の救急処置

東京女子医大教授 広沢弘七郎

心臓に関係した発作

A. 不整脈

1. 発作性心臓頻拍症
 - (イ) 上室性(心房性, 房室性)——WPW症候群
 - (ロ) 心室性
2. 発作性心房細動, 粗動
3. Adams - Stokes症候群

<ol style="list-style-type: none"> (イ) 心室停止 (ロ) 心室細動, 粗動 (ハ) 頻脈(心室性, 上室性) 	}	完全房室ブロック (advanced block)
--	---	------------------------------

B. 冠不全

1. 狭心症(労作狭心症)
2. 中間型(異型狭心症, 急性冠不全, 安静狭心症 etc)
3. 心筋硬塞……統発病態が多い

C. 心不全(急性左心不全)

心臓性喘息, 肺気腫

D. その他

1. 脳栓塞
2. チアノーゼ性心疾患の無酸素発作
3. その他

(1976 VII 広沢)

心疾患に関して救急処置を必要とするものは不整脈、心不全と冠不全である。

救急処置と云ってもその発作の現場にぶつかるとは少ないので、正確な診断を下すことはむずかしい。

不整脈の中で発作性に起きて救急措置の対象となるものは発作性頻拍症と急性心房細動、粗動等である。これらのうち一般に上室性のものが多く、予後もよいのが特徴である。しかし慢性の心房細動でも、処置が悪いと心不全とからんで頻脈の状態になり、苦しくなるので、急患として来ることはあります。Adams - Stokes 症候群は稀ですが、意識障害や心臓停止を起こします。

最近では狭心症と心筋硬塞が増加しています。心筋硬塞では種々の統発病態が多く、処置の特徴はそれぞれの病態に対して治療しなければならない

ことで、交互に矛盾する場合が多い。

心臓性喘息は最近では極めて少ない。

発作性心臓頻拍症

発作性心臓頻拍症は上室性と心室性があるが、この発作を起こすのは大部分10対1が上室性のもので予後がよい。これは特発性と云う基礎疾患のみつからないものから、重症のものまで非常に多い。発作性心房細動、粗動も細動が多く、粗動は少ない。粗動は発作性の上室頻拍症と似ている。

不整脈には等調律の異常による頻脈・徐脈等があるが、これは病的な意味は少ない。異所性の刺戟生成の異常は洞結節以外の場所から刺戟がでて心臓が動くもので、それには期外収縮、発作性頻脈症と細動・粗動とある。期外収縮は房室結節から出るものと心室から出るものとあるが、房室結節からは細動・粗動は出ない。

発作の頻度としては、心研の統計によると、外来で初診時心電図所見で分類したものとすると、発作性頻拍症は発作時に病院に来ることは少なく、8,000例中38例で、中間期のものが多い。心房細動538例は非常に多いが、大部分は慢性のもので、ブロックは少ない。初診時の所見のみでなく、その後の経過もみて正確に調査した統計では、頻拍発作が心電図から確実なもの46例、推定されるもの211例あり、心房細動の発作と思われるものが73例、推定できるものが32例あります。

基礎疾患としてみると、先天性心疾患、心房・心室中隔欠損、僧帽弁膜症は多く、大動脈弁症は少ない。動脈硬化症又は虚血性心疾患と云われるものが多く、推定を含めて362例中78例あり、それに高血圧をもつ24例を加えると、合計100例以上となります。少数ではあるが、甲状腺機能亢進症が発作性心房細動の原因となっています。又呼吸器疾患で肋膜炎の癒着のひどい時や、肺結核の歴史の長い場合にもあります。

注意しなければならないのは、他に異常所見のないものが63例もあり、多くこれを特発性と云うが、予後はよく、ノイローゼと間違われ易い。

発作性頻拍は脈数が150以上あり、洞性頻脈では150以下が多い。150を越すかどうか、特種な質的に変わった頻脈であるかどうかの区別がめやすくなります。医師が診察しても高度の頻脈を見落とすことがあります。

発作性頻拍症の治療（発作時の処置）

1. 生理的反射を利用する方法

これは発作性の上室頻拍症にだけ適応があり、迷走神経の緊張を生み出す方法です。

心臓の神経支配は心房と心室は異なり、心房から房室結節までは迷走神経の繊維が多く、心臓機能をおさえるので、こうした病的状態もおさえてしまいます。心室には交感神経は入っていないので影響はありません。

深呼吸をゆっくりするとか、Valsalvaの操作つまり息を大きく吸っていきむ、冷たい水を飲む、嘔吐反射、うずくまる。眼球加圧（Aschuecの方法）、これは患者の片方の上眼瞼を強く指で圧することによって、痛みの反射を利用するが、これは心電図をみながらやって、少しでもリズムが変わったらすぐやめる様にする。又頸動脈洞の加圧を利用する等あるが、これらによって上室性頻拍は止まる。

2. 抗不整脈剤

種々な薬剤、プロカインアミド（アミサリン）、硫酸キニジン、アジマリン、リドカイン、 β 遮断剤等を使用します。その他ジギタリス剤の静注が有効です。ラナサイドC、セジラニッド、ジギラノーゲンC、ジゴキシン等を5分以上かけてゆっくり静注すると、上室性のものは止まりますが、心室性のものには禁忌です。発作性の心房細動は頻脈になり易いので、ジギタリスの使用によって徐脈となり楽になります。

3. 最終的には直流除細動をかけます。

Adams - Stokes 症候群

これは不整脈のために心臓からの拍出量が急激に落ち、特に脳の血流がないために失神、痙攣等を起こす状態を云います。これに心停止型、心室頻拍型、心室細動とある。

完全房室ブロックとはAdams - Stokes 症候群を起こしてない状態でも、心房と心室との連絡がブロックされているので、そのままであったら心

臓に補充収縮、補充調律の動きがある状態である。

こうした状態は不安定な状態であるので、急にAdams - Stokes が起こって心臓が止まることがある。房室ブロック・洞房ブロックはそれぞれ1度・2度・3度とあります。

ブロックについて急患として問題になるのは、そのための心室停止或は徐脈になって、Adams - Stokes や心臓麻痺を起こす場合があるからです。心臓麻痺との区別は、心臓停止が3分以上続けば死亡しますが、それ以内では回復しますが、頻度は少ない。

治療は難しいが、医師が診察するのは、発作を起こして気を失った現場にぶつかるとは稀で、発作の際の処置としては心臓マッサージと人工呼吸それもmouth to mouthが必要です。

心筋硬塞

冠不全に急性のものでは心筋硬塞、狭心症とその中間型等があり、慢性のものでは無症候性の虚血性心疾患があります。労作性狭心症は運動特に心筋の働きによる酸素の需要と、冠動脈からの供給のアンバランスによって起こる。又安静時の狭心症もあるが、これは冠動脈の攣縮による血液の供給が落ちてくることによります。心筋硬塞では血液の供給が止まって、心筋の壊死に終わるのであり、心筋硬塞では重篤な合併症が多いことが特徴で、それぞれの病態に対して早期に十分な治療を行わなければならない。

心筋硬塞の患者が心研に毎年100名近く入院します。死亡率は平均して26%位に達し、心筋がmassiveに壊死を起こしている様な重症なものは、殆どどんな治療をしても死亡します。たゞ処置の如何によって助かるものは、大体10%あります。それは主に不整脈の治療が成績を左右します。重症の患者は心筋が大量に壊死を起こして心不全の状態になっているので、今日の医学をもってしても助からない。その極限は心原性ショックで死亡します。

死亡の原因としては270例の死亡者の主な原因はショック、不整脈、左心不全等です。ショックは末梢の血管性の因子を含めて、血圧は下って80以下となり、皮膚は冷たく、腎臓は血流が行かないので、尿量が減少し、脳内血流のないため、意識はもうろうとして、回復しても記憶はありません。

(4)

ショックで死亡するものは57例中16例で、10%内外ですが、ショックが起こると10人中9人は死亡します。心破裂は57例中6例あり、心筋の壊死のために心臓壁が破れて、血液が心嚢中にたまって心臓タンポナーデとなる。破裂が心室中隔に穿孔を起こすと、急激に心臓に重荷がかかって心不全が起こって死亡します。中隔欠損の患者は聴診器を当てると、収縮期雑音が聞こえます。その際心不全の治療をエネルギーシユにすると、半数は生き残るので、1ヶ月位してから手術で助かります。突然死は色々な原因のものが含まれます。

不整脈は種々あるが、その対策を充分にやっていると急性期の数日を経過すると、起こらなくなるので生き延びられます。

死亡の時間的關係は発病後24時間以内の死亡が多いので、早期に充分な治療が必要となります。

急性心筋硬塞の処置

すべての症例に共通して行う治療；疼痛に対してはモルヒネ等の麻薬の大量使用を必要とします。安静、酸素吸入、ショックを起こすと注射ができなくなるので、早い時期に血管を確保する必要があり、5%ブドウ糖、電解質等の点滴注射を行い、状況によりリドカイン50mgを静注して心室性不整脈対策を行い、CCUまたはこれに準ずる施設に収容することが必要です。

重篤な合併病態が多いので、その監視に注意し、その心配があったら早期に充分な治療を行う。逆に必要のない治療をしてはいけない。ただし、心室性期外収縮に対しては、心室細動予防の意味でリドカイン50-100mgを静注して期外収縮がでない様にする。

心原性ショック。重症例に伴ったショックは難治なので、早期から充分な処置を必要とする。病初に一過性に徐脈、血圧低下をきたすものに硫酸アトロピン0.5cc(1cc)程度で軽快するものがある。肺鬱血がなければ5%ブドウ糖200~400ccを5~10分間に静注して、循環血液量の不足を補い、イソプロテレノールの5~15ccを5%ブドウ糖250ccに溶解して点滴する。高度房室ブロックに対してはアトロピン、イソプロテレノール等を使用する。

ジギタリスを必要以上に使用すると心室細動を起こして死亡することがあるが、心不全があれば

必要なので、抗不整脈剤を使いながら使用する。

点滴も心不全があると疑問があるが、1日1,000~1,500cc位の注射を必要とします。

心不全

心不全は慢性のものもあるが、救急処置の対象となるのは発作としての心不全、即ち心臓性喘息である。これは高血圧で治療を放置している患者に、急に夜間の呼吸困難として現れる。

これは心臓のポンプの力のアンバランスによるもので、組織の求めている心拍出量に対する需要に対して供給が落ちてくることによって起こる。

その症状に2種類あり、前方障害と後方障害である。後方障害は心臓が弱って拍出量が落ちてくると左室に血液がたまり、更に上流の肺にうっ血が起こり、肺水腫のため呼吸困難となります。急性にすれば心臓性喘息又は夜間呼吸困難発作となる。高血圧患者に多い。前方障害は肺以外の体の部分に血液がゆかないために、種々の症状がでることが多い。心筋硬塞は大部分左室に起こる。そのため後方障害で左心不全が起こるが、時間がたつと右心不全が起こってくる。その症状としては呼吸困難、肺にラッセルを聞き、レ線写真で50%以上に肺うっ血がみられる。

急性心不全に対する一般的処置としては、血液の需要を少なくするために、先ず安静が必要で、又肺うっ血が起こるので、起坐呼吸となる。

酸素吸入も必要である。呼吸困難を楽にするために先ず麻薬を使用する。

心不全ではジギタリスと利尿剤が必要となるが、慢性のものには更に塩分の制限が加わる。ジギタリス静注はラナサイドC、ジゴキシン、ストロファンチン等を使用するが、これは心室性不整脈を起こし易いので注意を要する。大体ラナサイドC 1 amp 0.4mg、ジゴキシンなら1~2 amp迄を目標とする。心不全の症状が楽になってきたら後はあわてないことで、その後は次第に回復する。

フロセマイドその他の利尿剤も静注で利用できるし、これはジギタリスに比して不整脈を起こしにくいのでFirst Choiceとして重点とする。

(以上は7月21日と8月30日に西多摩医師会で行われた学術講演の内容である。)

新中国見て歩き（第13回）

東青梅病院 加 藤 出

昭 51. 6. 7 午後絹織物工場を見学後、南京站(駅)発列車にてこの旅行の最終旅行地である上海へ向かうことになった。南京駅はどこの駅も同じ様なたたずまいで、丁度上野駅の電灯を少し暗くした様なものであった。この様な駅舎などは、どこも薄よごれており、近代的なものに建て換えたものは見られず、もっと重要な、基礎的な施設へ資金をつぎ込んでいることは当然であろう。そして広い国土に鉄路を延長する方を優先させているのであろうと思われる。

駅の貴賓室で暫く休憩し、その間に南京での行動に終止付き添ってくれた女性写真師の出来上った写真を見せてもらい、必要なものを注文し、上海で受け取ることを約し、案内されてホームへ入った。列車はやはり軟車であったが、寝台車ではなく、2人掛向い合せの普通の型であるが、巾は日本のものより広く、ゆったりとしていた。リクライニングではないが、広軌であるので、列車の広さそのものは新幹線位あり、在来線のグリーン車をや、広くしたものということころだろうか。丁度日本からの30名位の、大部分女性の料理視察団と一緒に、略満員であった。列車のスピードは70～80 Km位であろうか、揺れ方は少ない方で新幹線の様な横揺れはなかった。

沿線は、畑・水田・池とあひるなどの田園風景に土塀・土壁の家が点在するので、比較的開かれた土地ということが感ぜられる外、大して変わりあるものでもなかった。さしずめ日本よりも工場が少ないということだけだろうか。隣の食堂車で食事をし、休んだり、話したりしているうちに、鎮江・無錫・蘇州などに停車し、22:50 上海站到着。

夜半のこととて早速乗車、20分程で錦江飯店旧館に入った。ここは昔英国租界内の英国系のホテルで、設備は古いが極めて重厚なたたずまいの、風格あるところで、この旅行で初めてホテルらしいホテルと感じたことだった。この新館は高層で、更に立派だという話だが、現在は改装中であれず残念だった。

昭 51. 6. 8 (火)：ホテルは街の真中にあるらし

く朝から街中の動きが伝わる様であったが、ホテルの上階から望む上海は、人家櫛比し、庭は少ないのか、屋根が多く見られ、高い樹木、緑は南京より少ないようであった。しかし何となく外国に開かれた都市という感じで、同じ商品を売るにも店のディスプレイが垢抜けしており、商品配置の工夫により、少ない商品も数多い様にさえ見え、又港町である為か、英語の看板や表示あり、毛語録の英訳看板もあるという調子で、他の都市に比べれば、ずっと洋風という感じがした都市であった。

午前は先ず対外友好協会羅氏の上海市についての説明あり、中国共産党は上海に生まれ、労働階級が多い由、昔は軽工業しかなかったが、プロ文革後新しい工業都市となり、冶金・電気機械・化学・造船工業などが出来たという。上海の総面積は6,100 km²、市内は140 km²、人口1,077万人、市内560万人とのことであった。次いで車で出発、上海工業展覧館を見学、さすがに展示品は他都市の展覧館に比べて量・質共にすぐれているようで、説明も日本語の出来る人が少なからずいたことは、同日の入場者に日本人の多かったこともあって、中々の勉強ぶりであり、楽器の展示室では日本の音楽を流したりのサービスもあって、御愛嬌であった。

午後は上海市竜華人民公社を見学、道中プラタナスの並木が多く、12階建の労働者用住宅の建築が見られ、又大きなスタジアムがあったり、やはり大都会らしい雰囲気を感じられた。約30分程走って途中から都会近郊の農林地帯を通り、公社に到着、ここは1958年成立、生産大隊13、生産隊101、5,100戸、農家人口22,500（工業従事人口を含まず）、面積850ヘクタール、食料、棉、野菜、肥料、漢方薬、養豚などを行い、中学3校、小学13校を持ち、医療は衛生院が1ヶ所あるだけだった。

先ず小学校・幼稚園では例の通り大歓迎を受け、その後小雨そぼ降る中を畜産施設を見、次いで縫製工場では輸出用らしいガウンを作っていた。その後衛生院に到着、2階建200坪程の建物で、要

員48名、西医7名(うち3~4名は赤医〔はだしの医者〕らしい)、漢方11名というが、吾国におけるような医療器械は殆どなく、薬品・注射薬も少なかった。

医療費は1969年から合作医療制度となり、1人1~2元の掛金で、個人負担は30~40%のみ、しかし3個の大隊は収穫が多いので無料ということであった。

衛生院を終わって家庭訪問、主人は工場労働者であるが、男女各2名の子供あり、計5名の農業労働を行っているが、家は平家で、瀋陽の工場労働者のアパートに比べればやゝ広く、土間もあるのでやゝ余裕のある広さと思えた。家の中にある調度は洋服ダンス様のもの1つ、タンス2、机2、ラジオ1、ミシン1台位のもので、この公社では野菜の自留地という個人の土地が1人当45㎡認められており耕作していた。ここの作物は自家用であり、又物々交換や売買が出来るらしい。近いうちに3,000元(約48万円か)かけて2階を増築するという。この費用は貯金と公社からの借金によるとのことであった。尚この公社でも人口増加率は $\frac{1}{100}$ であり、産児制限、晩婚政策をとっており、機械農法をとり入れて、余剰人員は公社の工場に廻しているとの話であった。

夜の見学は市内中心部附近の上海雑技場の見学であった。毎度のこと乍ら貴賓室で少憩し、ベルと共に案内されて入ると略満員の円型スタジアムで、雑技とは何だろうかと思ひ、サーカスの様なたたずまいだなぁと考えると、その通りで少年の曲技であった。拾数種類の曲技を交代で行い、中々キビキビした動作で、球乗りや綱渡り、1台の自転車に9名乗りなどがあり、或る棒乗りには少年の1人が失敗して指導者から叱られてフラフラになり乍らも2度挑戦して、遂に不成功だったが、その真摯な態度は微笑ましいことであった。

昭51.6.9(水)曇

午前中は上海の古い街中の家庭を見せるという。静安区張家宅街道張家宅里弄という住宅地で、古い2~3階建の白壁の長屋というたたずまいで、労働者の多い地区だという。3,300戸、人口11,600、就業4,900名、停年退職者600名、小・中学児童3,000名、街道経営工場1、里弄加工組1、託児所、食堂、サービスステーション、合作医療室、少年の家、老人の家、小学校2、百貨店などがあ

るらしい。日本の町会乃至それが2~3ヶ合併した位の大きさの組織だろうか。

政治的に市革委(市政府)——区革委——街道革委——住宅里弄委と上下につながっており、都市政府が住民の隅々まで抑えているという感がある。古い家並はそのまゝだが、昔は水道もなく、食うや食わずで、ボスがはびこり、冬は凍死者さえ出たという。解放後は生活レベルも上がり、道路も舗装され、衛生環境も良くなり、生老病死の点ではすべて保証されているので、これも毛主席のお陰だという一致した、声をそろえての老人達の話であった。サービスステーションには靴・衣類の修理所やクリーニング、傘なおし、更に銀行の窓口まであり、露地は狭いので向かい側の家の窓々の間に紐を渡して洗濯物を干し、その下では盥を置いて、おしゃべりし乍ら洗濯している様子は何処も同じであった。唯不思議なことは吾々の通る予定地には、すべて紐も、洗濯物もなく、上からの通報が良く通じているのであろう。物見高い子供達も殆ど見られないが、これは託児所あり、幼稚園あり、少年の家ありでそこへ集まって教育しているからであろう。少年の家を見たが、古い昔の個人の大きな家を使っている様で、児童の数に比べればやゝ狭い感じだが、やはり幼児からの教育を重視している点がよくわかった。

午後は曹場第2中学校見学、1954年創立、普通科35級、1,500名、教職員137名。課業の70%を政治文化に、30%を労働に用い、德育・知育・体育共に力を入れるが、中学3・4年級になると、脱落者も出る由。教師の給与は10級で40~150元(6,400~24,000円)、医療は無料、女子の出産休暇は10ヶ月、結婚で家が与えられ、停年は男60才、女55才、以後は70%の給与をもらい、医療も無料であり、この様であるから貯金も出来るという。上海市では教育は普及し、中学卒業者は必ずしもエリートではなく、革命思想教育を充分行っているため国の要請に応ずる人も多いとのことであった。

授業参観中、書道の教室では掛軸用の縦長の紙が用意してあり、先生が「中日両国人民要世世代代友好下去」という字をさすがに上手な篆書で書き、当方の団体にも一人上手な人がこれに応じて楷書で応じ、幸い素人としては少しも恥ずかしくない文字を書き、これを交換して来たが、文字の

国の人にはさすがに筆の字はうまく、最近の日本人は筆を使わないので、上手でなくなったのは誠に残念なことである。

夜は帰国前のこととて友誼商店という、外国人向の免税商店にて買物をした。ここには輸出向の各種の物があり、品数もいろいろそろっていたが紫檀の机や飾棚にしても、扉や引戸がガタガタだったりして、やゝ仕上げが粗末であった。私はここで上海絨緞を買ったが、245×325 極、20 耗厚の6 畳用絨緞(天津物でないのが残念)で1,664 元(266,240 円位か)であった。これを船便で輸送してもらったが、手続きはなかなか面倒で、出発前に漸く終わった状態だった。他に刺繍の入ったテーブルクロス大・小も買ったが、汚点がついてい

るので洗濯代をまけると大部粘って交渉したが、遂に一文もまけてくれなかった。

私は日本の百貨店では時々値引きさせるし、それが趣味のようなものなのだが、友誼商店の店員は公務員だからか、頑強そのものであった。(大112 元、小42 元—17,920 円、6,720 円)そして帰国後開いて見たところ汚点だけでなく、一部切り傷さえあったので、誠に高い買物になってしまったし、小さい方の品は東京のデパートの中国品パーゲンでは、もっと安くなっていたのには驚いたことだった。しかし上海物とは言え絨緞はさすがに厚く、深々とし、足ざわりの良さなどで、船便で3ヶ月もかかったが、半額か $\frac{1}{3}$ の価格であったから非常に良い記念品になったと思っている。

「オーストラリア」「ニュージーランド」の旅 (2)

高 水 武 夫

「キャンベラ」

昭和52年4月30日午前8時30分トランス・オーストラリア国内航空便にてシドニー空港を出発す。広漠たる緑の原野の上空を40分間飛んでオーストラリアの首都キャンベラ空港につく。

空から眺めた人工の首都キャンベラは豪華なる美しい庭園の如き眺めにて目を見張るばかりなり。

空港より出迎いの「貸切バス」で先ず「エンズリー山展望台」に登る。この展望台は市の郊外に聳える高さ840 mの丘上にあつて附近は小公園となっている。此処からの眺めは素晴らしく全市を一望することが出来る。眼下の正面遙かの湖の彼方には白亜の国会議事堂を中心として広がる景色の辺り自然と人工の調和の美をつくしている。

展望台の麓からは国会議事堂に向かって広々として両側を緑の並木に飾られて真っ赤な道が一本真っすぐに続き絵の様である。

「バス」は丘を下つてこの赤い「アンザック・パレード」通りの起点に聳える壮大な戦争記念館に向かう。目にしみる様な緑の芝生や、杉や、ユーカリの大木の中に「円形ドーム」の聳える白亜の大建築物である。此処には第一次世界大戦以来ベトナム戦争までの凡ゆる戦争記念品や絵画等が陳列されている。中でも大東亜戦争関係の日本軍

の「サイン」入りの日章旗、軍刀、鏡から命令書或は千人針の腹巻きに至るまで数多くの陳列品が目を見張る。

又、建物の広場には日本軍の「野戦砲」や「タンク」と共に当時シドニー湾を襲撃して魚雷網にかかり拿捕された二隻の鋼鉄製の特種潜航艇が展示されている。初めてみるその姿に日本人として深い感銘に打たれて暫く前に佇立した。「ガイド」の話によれば当時のオーストラリア軍の総司令官は武人の鏡として全軍に布告し戦死した乗組員の棺を軍旗で被つて厳肅なる軍葬を営んだとの事である。

戦争記念館前を起点とした赤いアンザックパレード通りを進んで真っ直ぐに国会議事堂前に入る。国会議事堂は階段を登った低い台地の上であり、正面玄関の上の大きな「オーストラリア」の国の紋章を中心とした左右に上下両院がおかれ、開会期以外の時には一般の見学に開放されているという。入場料を払って入り、上院次に下院にて係の人の説明を長時間「いねむり」をしながらきく。漸く終わったが何を説明してくれたのか「さっぱり」わからず「ちんぷん、かんぷん」とはこのことか。後で娘の通訳によれば両院議員・事務官の配置状況、議事の進め方等について説明してくれ

(8)

たとの事なり。「ガイド」によれば、この国の紋章は六州の盤を中にして向かって左にカンガルー、右に駝鳥に似た「エミュー」がこれを抱きかかえているとの事なり。

議事堂前方の緑の広場の湖畔に五階建ての白亜の国立図書館が樹林を前にして聳えている。此処には「キャプテン・クック」の航海日誌を始めとして120冊の図書が集められているというがながめただけで通りすぎ、議事堂周辺の官庁街を通過して後方の公園の様に美しい緑の丘に散在する各国の大大使館を道路伝いに見学して廻る。夫々お国ぶりの建築を競い合っていて建てる様は面白くも美しい眺めである。日本大使館も生垣をめぐらした日本式建築で日本庭園と共に優雅な趣を呈していた。先年「メキシコ」を訪れた時と全く同じ趣であるし、メキシコの時はお正月で大使館の庭園でお正月のパーティーの最中で感銘深かったことを思い出す。

次に広大な敷地で、木立にかこまれた「オーストラリア国立大学」を眺めながら通りすぎ、我々がキャンベラを訪れた第二の目的である「トリラー牧場」へ出発す。SKの中田君が牧場主夫妻と昵懇の間柄で大款待してくれ、旅の空だけに親切が身にしむ。期待していた「骨つきの大きい牛肉のステーキ」をこの国自慢のホワイトワインで乾杯しながらいただく。皆で楽しい「ひととき」を過ごす。

庭に出てカンガルー数匹が放ちがいなっており写真とったり、たわむれたりして遊び、又牧場主が「ブーメラン」の実演をやってくれ、我々も皆でブーメランの競技をやったが中々むずかしく、中々手元に返って来ないので驚く。女性第一主義で女性だけが「サイン入りのブーメラン」を賞品として戴く。次に牧場へ行き牧場主の羊の毛刈の実演を見学、護羊犬が主人の声のまゝに羊群を移動させる様子はテレビでみるカウボーイ以上でよくもこう迄訓練したものだと感心す。

牧場で大款待されて時のたつのを忘れて居たがシドニーへ帰る飛行便の最終に遅れそうになり、親切な牧場夫妻に別れをおしみつつキャンベラ空港へ向かう。キャンベラ空港の待合室でオーストラリアの「若いカップル」が何組か目につく。主人が赤ちゃんをおんぶしたり大きい荷物を持っており、奥さんはちゃっかり一人で煙草を吹かして

いる光景を目の前でみて、なる程オーストラリアの娘さんとは恋愛してもよいが決して結婚してはいけないと云ったガイドの話を思い出す。

午後8時30分、シドニーに向かって飛び立つ。

シドニー空港についたらタクシーを待って時間をつぶし、午後9時半頃漸くメンヂースホテルに帰る。

すっかり疲れてひと休みして、水上レストラン「Flanagans Afloat」へ夕食を食べに行く。

特製のホワイトワインで乾杯して「生かき」、ステーキでオーストラリアの味をあじわう。「ウエートレス」にはマウイ族の娘さん、ギリシャ系娘さん、中国系の娘さんと色とりどりで大歓迎をうけ時のたつのも忘れて遊び遅くホテルに帰る。

明日は市内観光で忙しい日となるようなり。

第74回

西多摩医師会ゴルフ大会

昭和52年8月18日(木)

大雨洪水警報の出ている、どしゃぶりの中で、霞ヶ関CCCにて強行したが、連絡の手違いで、午後参加の先生方はハーフであがられたので、11名のコンペになった。

成績は次の通りであった。

氏名	アウト	イン	グロス	ハンデ	ネット	ランク	新ハンデ	
宇田	42	48	90	19	71	優勝	15	BG
鶴田	46	47	93	18	75	2	16	
川崎	53	55	108	21	87	3	20	
吉野	53	47	100	13	87	4		
江本	50	47	97	9	88	5		
高水	59	51	110	20	90	6		
今川	57	53	110	20	90	7		
矢羽野	57	54	112	21	91	8		
堤	57	61	118	24	94	9		
宮地	57	49	106	8	98	10		BB
杉本	66	63	129	28	101	11		

(10)

重に検査される。

私達の泊ったマヘ・ビーチ・ホテルは島の反対側外洋に面した断崖にある。山越に空港から車で30分以上かかる。玄関に入ったロビーは3階で、部屋は2階であったから、階段を下って入った。ペランダの下は荒海で、怒濤が眼下に打ち返していた。

丁度木曜日であったが、この日だけプールサイドでバイキング式の夕食であった。向こう側で踊りと歌のショーが行われた。大体アフリカ風のものであったと思う。火がプールの水面に映って美しかった。

ついでにセイシールの通貨をいうと、この単位はルビーで、その日の相場が変わるが、1米ドルが6ルビー位に当たる。従ってビールの4ルビーは1ドル270円として180円位で高くはない。但し日本のような大瓶でなく中瓶位である。

尤も外貨は米ドルばかりでなく、イギリスのポンド、ドイツのマルク、フランス・スイスのフラン、北欧のクローネ、カナダドル、或は日本の円でも簡単に交換してくれる。但しルビーから外貨への交換は面倒な手続きと手数料が要るので実際は出来ない。だから必要に応じてその度毎に交換するより仕方がない。後進国は外貨を欲しがらるのだ。

食事は朝食が一番よかった。フルーツとジュースは勝手に取って来るようになっていて、いくら飲食してもいい。その他にとうもろこしを潰して乾燥したものをミルクにつけて食べるコーンフ레이크というのがある。オートミールのものであさりしている。後は玉子料理にパンとコーヒー又は紅茶である。昼はスープの次にクレオール料理が出る。米飯に肉汁をかけるのだが、大体カレーライスと思えばいい。印度方面から伝わったのであろう。次いで肉或は魚のメインと野菜サラダが付く。夕食は普通いう洋食であるが、ホテルのダイニングルームは冷房がよく効いて寒い位であった。飲み物としてはビールはあまりうまくない。ワインはフランスのボルドーの銘柄物が比較的安くこれがよかった。

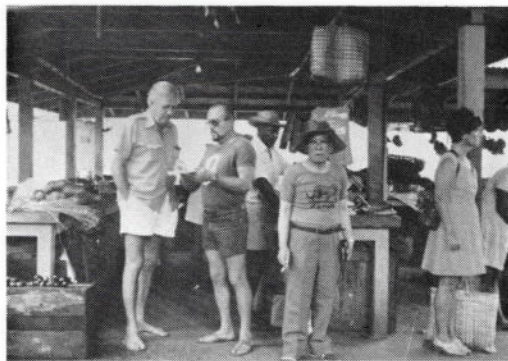
ホテルのすぐ裏に海拔905mの山があり、島中で最も高い。米軍の宇宙観測基地があり、レーダーのドームがあった。約100名の米兵が駐留している由だが、住民は米国とはあまり親しみがな

ようである。

その下に茶畑があって製茶工場がある。紅茶を作っているのだが、小規模のもので、家内工業の毛の生えた位のものである。紅茶といえばスリランカである。しかしそちらでは大規模に化学肥料を入れて大量生産をやっているが、こっちは面積もないからこれだけのものである。新鮮さと香りを誇っている。出来たばかりの茶を入れて飲ます店が附属している。

その前の道路わきにぞうがめを飼っている。ぞうがめは陸生で草を食って生きる。だから草を絶えず与えていれば決して逃げないそうだ。人間が上に乗っても怒らないで、ノソノソ歩く。それが90才以上だという。

この島では年間平均雨量が2,000mm以上ある。雨雲は忽ち来て忽ち去る。そして虹が立つ。日本の梅雨のように何日も降り続くことはない。全島が花崗岩性であるから水持ちが悪い。従って至るところに貯水池を作っている。そして民家は90%以上が水洗便所になっている。これは英国統治の遺産である。



北海岸の西寄りに首都ビクトリアがある。この島での唯一の港湾である。前方にある島嶼が珊瑚礁を張り出して天然の防波堤になっているからであろう。人口は約2万といわれる。マーケットがあって雑貨日用品や食物などを売っている。掛小屋の店も並んで相当賑やかである。貧乏ではあるが割と清潔な感じを受けた。

海岸寄りの方に政庁があり、その附近に郵便局や港湾事務所などがあり中心街というべきであろう。その傍に観光客に土産物を売る露店が並んでいる。貝やべっこうなどの細工物、椰子の葉や樹

木の皮で作った籠や帽子の類が多く、そう高価なものはない。粗野であるが風趣がある。その間に銀行があって、値段を聞いてから銀行に入ってルビーに換えて払うようになっている。

海岸に沿って南東方向に病院と学校がある。不思議なことに男女は全く別学で、左手が女の子の学校で、道路の反対側が男の学校だ。大体高等学校程度までで、大学はこの島にはない。

次に植物園がある。この地の植物を集めたのだろうが、椰子の種類が多い。要するに公園である。花も美しいが、大体アフリカも含めて多くは南半から移植したものだという。ここでもぞうがめを20匹以上飼っていた。200才以上のが居たが、先日死んで今は130才位のが一番年寄である。

Tartaruge Follice Restaurantで食事する。海岸の斜面にあり、樹の葉越しに海の島々を眺めつつ快適な一時であった。

船着場に降りて観光船に乗る。つまりはモーターボートであるが、Glass bottom boatと称している。船底が硝子張りであって海底が見えるように作られている。数個ある島に近づけば珊瑚の林があり、その間を泳ぐ魚が居る。Marine National Park 海中公園と呼んでいる。しかし期待した程鮮かではなく、魚も少なかった。人口が増え、船の往来が増して来るとどうしても汚水が流れ込み、死滅する珊瑚が多くなるという。

これらの島の中でもモエネ(Moyenne)島は海流の関係が砂浜を海中に出して、白人の何家族かが海水浴を楽しんでいた。ここに船を着けて上陸した。休憩出来る小屋もあり、清涼飲料も売っている。遙か外洋を眺められる地点もある。

こうした小島は大抵イギリスの富豪の個人所有になっていて、入場料をとられるのだ。このモエネ島もその別荘があり、実際に棲んでいるらしい。

セイシェル群島は90余りの島で成るといっても、その中に人間の住むのは幾つかというと、正確にはいえない。それは漁業とか或は甘蔗栽培で或る時期だけ人間が行っている島もあるし、こうした個人所有の島が沢山あるからである。

海風は涼しいが、直射日光はかなり暑い。だから砂浜で遊ぶ白人の背中中は真っ赤に焼けていた。

ホテルのプールは真水である。近くの海は波も荒く渦を巻く場所もあって遊泳禁止である。しかしプールの端から下って行くと入江があり、岩を

防波堤のように並べてあり、その内側は静かである。怒濤の飛沫が飛び散っているが、中は遠浅の白砂であった。椰子の林の下は芝生で、そこにタオルを置いて海に入る。シャワーの設備もある。

このホテルは海水着姿で廊下を歩いても咎められない。客は私達日本人以外は欧州から来た白人である。

翌日ブララン島へ行くことになった。ブラランとはPlaslinと書く。これをプレイスリンと読まないでブラランと読むところがフランス語的である。この島はマヘ島の半分位の面積で、人口は約5,000人、ピクトリア市から見ると薄く霞んで見える。船もあるが、海が荒れると波が強いし、時間もかかるので軽飛行機で行く。朝空港に着くと雨が降っていた。パイロットが傘をさして案内する。小さくても機長だから4本金筋の肩章をつけている。若禿の男であった。

滑走を始める頃雨は上った。15分乃至20分位の航程である。海面を見ると砂に波立つた部分がある。岩礁でもあるのかと思うと、それは船であった。白波を蹴立てて航跡を引いて走っている。上から見ると動いてないようである。何時の間にかマヘ島の方が薄く霞の中に入り、ブララン島の緑が濃くなっている。計器は沢山あるが、操縦は自動車より簡単な位である。

もうブララン島の上に来て二条の並んだ滑走路が脚下にある。吹き流しの方向を見て一方に降りる。椰子の葉で葺いた小屋があり、これが空港事務所兼売店の建物らしい。マイクロバスに乗って出発する。海水浴場は山を越した反対岸の海岸だそうである。

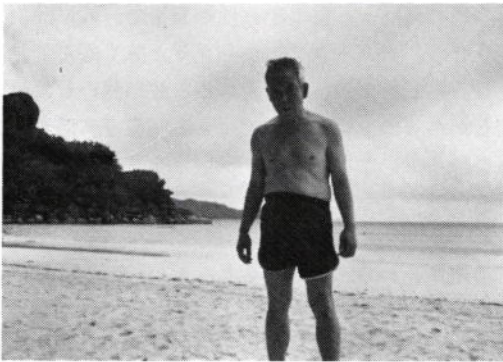
途中バリダメという自然公園がある。バリというのは椰子の一種で、その葉は屋根を葺くのに使われる。ダメとはValley谷という意味だそう。雨が多くて湿気の多い上昇気流がこの谷に沿って上る。だから植物が繁茂する。つまり密林である。天を摩すように大木が生い茂っている。椰子の類が多いが他の種類もある。

徒歩道が一周するように出来ている。白人のグループに何回か遭った。この間は喫煙は禁止されている。葉や枝が落ちて堆く積るから乾燥したときは吸殻で山火事になる危険が充分あるからである。

一つの実が人間の体重程もある椰子がある。

600年以上も経った樹もあるそうだ。考えてみれば私達が戦争中に居たニューギニアの前線も同じようだったのである。敵機の跳梁下をさ迷い歩いたのを思い出した。

再び海岸に出てパラダイスホテルに着く。バリ椰子の葉で葺いたコテージ風の家が並ぶ。これがこのホテルである。中央にひとときわ大きい建物があって、それがレストランである。ここで海水パンツに着替えて海に入る。



波静かな白砂である。砂の粒は全く細かい。白人が数人来ているだけである。太陽はキラキラと輝く。

「江の島あたりとは違いますな」

「全く、お金があれば又来てもいいですな」

同行のOLの中にはシュノーゲルと脚ひれを持って来ているのも居る。用意がいいものだ。

レストランで昼食となる。水着のまま上体に何か羽織ればいい。同じようなクレオール料理であったが、ふきのとうや野沢菜に似た野菜が付いたのは楽しかった。

又泳いで夕方軽飛行機で帰る。昨日のモエネ島の上空で写真を撮ろうと待ち構えたら直前で雲に入り、雲が切れたと思ったらもう滑走路の上で降りたら雨上りらしく濡れていた。

セイシェル群島は植物の他に野鳥も又多い。バード・ハントにも恰好の地だそうだが私は知識がない。ただこの島にしか居ないという鳥の種類はまだ発見されていないそうである。アフリカ本土、マダガスカル或はアジア大陸からのもの、その他海洋の鳥など沢山居るらしい。爬虫類も多い。とかげの種類には随分派手な色彩のものがある。幾らか有毒のものも居るようだが、コブラ或ははぶ

のような大型毒は居ない。亀だけは大きなのが居る。勿論猛獣は居ない。

外国の公館としてはフランス大使館があるだけで、西欧や中共の在外公館はここに同居させて貰っている。日本の政府出先機関はない。ケニアのナイロビにある大使館が管轄している。だからここでパスポートを紛失すれば大変で再交付を受けるだけで一月はゆうにかかるということである。

日本の商品はかなり入っている。世界中何処でもそうだが、オートバイ・自動車など、味の素や家庭電化製品は殊に多い。が、まだ駐在員を置いている日本商社はないし、確たる代理店も持っていない。

東京からの空の便は週2回、香港、コロンボからここに来て、タンザニアのダルエス・サラームからケニアのナイロビを経てロンドンに到る線と、同様に来て南阿のヨハネスブルグに到るのとである。ジャンボ機ではなくVC10型機で120人余りしか乗れない。他にケニア航空が来て居り、エールフランス機も欧州からアフリカを経て来る路線を持っている。東京からの英国航空はシーズンでもあるのだろうが、日本人の乗客が殆ど半数以上を占め、日本人スチュワーデスもここまで乗務して日本語のアナウンスをする。

セイシェル群島は又お金の要らないところである。夕食の酒位しか使い道がない。ビクトリア市には映画館が一つあり、バー・キャバレー様の店も少しはあるそうだが、原住民相手のもので、夜の歓楽街は全くないに等しい。又、原住民の女性をホテルに連れ込むことは厳禁されている。沢山の客が出入するから分からないようでもあるが、誰か気が付くらしい。

丁度最後の日の夕食時に警官が従業員室の入口まで来て何か言っていたが、顔を緊張させたボーイやウェイトレスが右往左往していた。

一人の白人の客らしい男性と現地人らしい女性とが連れられて行った。どうも連れ込みのようであった。

欧州人は家族連れで来ているのが多い。食事の時や海水浴ですぐ友達になる。彼等も日本人には全く対等の相手として話す。日本の経済の異常の発展は驚異のようである。

えつおうこうせん
支那の昔、越王勾踐の臣、范蠡は果して
はん
悪臣であったか。そして兒島高德の事。

増戸診療所 江口二三男

元弘元年(1331年)後醍醐天皇は、鎌倉幕府の執権北条高時の暗愚なのをつけこんで、長い間武家に奪われていた政権を取りもどそうと計画した。然し事前に発覚したので、笠置山に逃れた。然しこの城も陥ちて、天皇は逃れる途中幕府に捕えられ、隠岐(おき)の島に移される事になった。そこで兒島高德の事になるが、高德は大平記と言う歴史小説にあって、他の歴史資料に事実を証明するものはない。それで事実とも真実とも言えないが、只、岡山市の海岸に兒島半島と言う所がある。兒島と言う一族が居た事は間違いない。

天皇の戦争は八月に起き、九月に天皇は捕えられ、旧暦で翌三月に遷された。道は姫路西方35Kmの船坂山を越え、その西北40Kmを越した所に院の庄と言う所がある。兒島高德は、天皇奪還のチャンスをねらい、跡をつけたが、警戒厳重の為断念し、「院の庄」の庭に入り、桜の樹をけずり十字の詩を書いた。墨、黒々と。

天勾踐勿空(てんこうせんをむなしうするなかれ)
時范蠡非冥(ときはんれいなきにしもあらず)

兒島高德は学の有る武士であり、天皇も又学があった。それで天皇は、警備の士にそのことを教えて貰い、桜の樹の上記十字の詩を書いた。

「舟坂山や 杉坂と み後親(あとした)いて院の庄 微衷をいかばや聞えんと桜と樹に 十字の詩 天勾踐を空しうする勿れ 時范蠡冥きにしもあらず」之は私が小学生時代、(大正3.6刊)唱歌で教えられた歌である。十写の詩とはそれである。

さて本題に移らねばならぬ。越の国は中支と言って支那の南京地方にあり、呉の国は南京地方の北、むしろ海岸に近かった。互いに仲が悪く戦い合った。

日本歴史にある越王勾踐の臣范蠡は、大忠臣と考えられている。それが越王勾踐の城都中支紹興に行くと、范蠡は大悪臣であると。その訳を聞くと、范蠡なる男は、国王勾踐の愛妾・美女西施(せいし)を奪って逃げたと言う。(私は参戦しその

地区に居たので。)

呉越交戦の大要につき書くが、呉王闔閭(こうりょ)は戦傷して死んだ。(紀元前496年)

次に呉王の息子夫差は越をうらみ、越王勾踐を倒す為(紀元前494年)まで臥薪した。即ち薪に寝たのである。ここで夫差が父のかたきを打つ為、苦勞した。そこで臥薪と言う言葉が生まれたのである。そして遂に越王勾踐を破った。

所が一方越王勾踐は、何としても夫差を破り、うらみを晴らすべく嘗胆した。即ちあののが胆汁をなめてくらし、紀元前457年、一応和平して居た呉王夫差を激破した。

ここに呉の夫差の臥薪(がしん)と、越王勾踐の嘗胆(しょうたん)という字が生まれた。臥薪嘗胆と言う苦勞は二人の忍苦の果てに出来た言葉である。

范蠡の事は、十八史略に書いてある。十八史略は十八の歴史の本であり、日本文にして約千頁位あり、その初めの方に春秋戦国と言う所、呉越興亡が約500字位ある。

呉王夫差は、前述の通り朝夕薪中に臥し、「出入する人をして呼ばしむ。貴王、越人が父君を殺したるを忘れたるや」とある様に彼は薪に寝て我が身を苦しめ、富国強兵を画し、翌々年越王勾踐を破る事が出来た。所が越王勾踐は、忠臣范蠡を用いて国力の回復をはかり、我が身は范蠡の臣となり、敗戦の儀礼である、「臣妾」と言う言葉の通り屈辱的敗戦をした勾踐は、范蠡(部下)を王とし、自分の愛人を敵に送ると言う、「身を臣妾にする」と言う当時の支那の歴史に従った。

所が勾踐は、その後嘗胆をし、遂に国力を回復し再度呉の夫差と対戦し、呉の夫差を完全に激破したのである。今では言わぬが、昔、あいつとあいつは呉越だよと言う流行語もはやった事もあった。私は今医者であるが、中学時代戦争もなかったので文学を好んだ。所が厳父の命令により、医科に進めと言われて医者になった。支那にも多少

(14)

永く居たので、出来るだけ戦闘の間に支那史の勉強をして見た。

所で越王勾踐は、呉を亡ぼして、江南の地に覇を唱えたのは、2500年近く前である。呉は亡びてしまった。日本が出来た頃と余り変わらぬ。

所で越王勾踐と言う人は、長頸烏喙(ちょうけいいうかい)(首が長く烏の様な口先)日本の政治家では、岸信介を不男にした様な男であつたらしい。これから范蠡の事を書かねばならぬが、その前に勾踐の事を言っておこう。勾踐はその様な風ぼうであつた外に、「艱難は共にすべく、安楽は共にすべからず。」と言う人であつたので、范蠡は20年彼に支えたが、遂に愛想をつかし、彼の許を去り、山東半島に行き、大金持ちとなり、又その財を皆に分けて、陶と言う所に隠居したので陶朱公と言われたと言う。

話変わって本題にもどるが、范蠡が忠臣であつたか、悪臣であつたか、私は何も言わぬ。

1. 私は従来の十八史略の説明が正しいと思う。
2. 土地の人の言が本当であるか。今より2500年前の話であり、呉は亡び、越は極めて栄えた。中国学者の研究で、土地の人の身びいきで自分達の祖先が有利な条件が伝説的に伝えられたと言う。(2500年前の事であるから)又居なくなった者より、居残った連中の方が歴史的に有利となる。吉良上野介は、強欲な人間として伝えられたが、三州吉良では名君として伝えられている。
3. 亡ぼされた王朝より、亡ぼした王朝が正しいと伝えられる事が良くある。勝てば官軍、負ければ賊軍と言う諺もある。実際支那に於ては、呉は余りほめられていない。

結局、土地の人の話、范蠡については、私の考えでは何とも言えぬ。歴史を信ずる外はないと思うのである。土地の人の言う言葉は2500年前の身びいき的なものかと私は思うのである。そして美人西施(せいし)は范蠡とかけ落ちをしたと言うが、前述の「臣妾」の歴史に従い、范蠡が西施を呉の夫差に送り届けたが、西施は間もなく結核で死んだ。西施の墓は、越王勾踐の城趾の在にある。粗末なものである。

追記；范蠡が主君に愛想をつかして山東に去つたが、主君を芳しく思わず去つた武士も居る。後藤又兵衛、塙団右衛門等。日本では之等の連中を

むしろ偉人と思つたかも知れぬ。

兒島高德と言う人物が、前記十字の漢詩を書いたとすれば、彼は学徒であつた。天皇も学者であつた。警戒兵共にこの十字の詩の分かつた者は一人も居らぬ。この時代武士は強いだけで無学な者が多かつたが、高德あたりから勞力・教養・武勇ある人間が出て来た。その頃の武士は村の若い者を何人か、多くとも何十人かを戦場に引きつけて行つたが、高德以後になると、教養あり、人間味あり、武勇が必要であつた。源平の戦は何百人が大軍であつたのに南北朝の頃は、両軍共約二万人もの戦闘が行われ、その為産業・交通の外、隊長の人格・教養も問われたものである。

紀元前 496 年 呉越の戦、呉王闔閭→没

" 494 年 呉越の戦、呉王夫差、越王勾踐を破る。

" 482 年 越、呉と和す。

" 475 年 越、呉都を囲む。

" 473 年 越、呉を亡ぼす。

越、覇を唱える。

之を以て終わりとする。(昭和52.8.30)

プロ棋士指導碁会

恒例の夏の大会を、8月21日(日)午前10時から、青梅市福祉センターで行いました。各人4戦して、同点者は決戦の結果、下記の順位となりました。

優勝	甲斐	三段	4勝
準優勝	栗原	初段	3勝
3位	鈴木	三段	3勝
4位	大蔵	五段	3勝
5位	小林	二段	2勝

(以下略)

公衆衛生部よりのお知らせ

松 原 貞 一

1. 予防接種関係

インフルエンザの接種量が一部変更されました。従来中学生までは0.3mlであったものが、今秋より13才(中学1年生ですでに誕生日を迎えている者)より15才までの者、即ち中学生の大部分は、現在使用されているHAワクチンの安全性、生徒の体位の向上などの理由から接種量が0.5mlと改められました。

又、インフルエンザの予防接種は従来中学生までを対象として実施していましたが、高校生についても、

a. 中学生と同様の効果が期待できること

b. 予防接種の実施体制が整ってきたこと

などの理由により、今回対象として追加して差し支えないということになった。特にこの1~2年インフルエンザ・ワクチンの有効性については大いに議論のある所ではありますが、厚生省は兎に角ワクチンの効果は期待出来るとし、東京都では全高校生に接種すると4~5億もの予算が必要であり、風疹の定期接種を無料化することさえ四苦八苦しており流感まではとてもとっているのに、厚生省は“実施体制が整って来た”と考えている。更に都道府県に流された施行通知には“対象として追加して差し支えない”ということになっており、今年実施せよと言っているのか今年はやらなくてもよいと言っているのか表現は曖昧模糊として態度は不明瞭で、都としても11月実施を目前にして予算云々と言ってこれまた態度を決めかねており、地区医師会としては接種のスケジュール作りに困惑しているのが現状です。

可能性としては今年も行われぬことになりそうですが、来年より実施されることは間違いない。又中学校までは当該市町村の集団接種ということであるが、高校となると他市町村の生徒が混入して来るので、個人接種の承諾書関係がないと事故があった時免責補償が出来ない。東部・西部ブロックでは、集団・個人の両方の承諾書関係を作っているため、他府県の生徒でない限り事故があっても責任を問われることはないが、南部地区では

個人接種の承諾書を作っていないので来年実施まで何らかの方法で免責条件を作っておく必要があるのではあるまいか。

2. 休日夜間診療体制

本年1月、都の休日夜間診療体制が作られ、当地区では初め大聖・目白第二の両病院が交互に担当するというので発足しましたが、隔週ということは確かに大変なことであり、4月より両病院の他に福生・阿伎留・奥多摩・高木の4病院に加わって頂き、月1回というサイクルで始められました。元来、救急医療は風邪発熱など夜間来院の7~8割を占めるといわれる軽症患者が対象ではなく、救命を必要とする二次救急を目標として対策がたてられるべきで、西多摩地区でもかかる観点から上記病院に担当をお願いしたわけでありましたが、実際始まってみると案の定軽症患者の殺到する日があったりして翌日の診療に支障を来すということで、上記病院の中からも返上を申し出る所があり、西多摩地区の休日夜間診療体制も再度危機に立たされたわけでありました。

約半年、休日夜間診療を行って来た経験から、かかる救急医療体制を混乱に陥れる軽症患者の一群の外に毎晩1~2名の入院患者があり、時には明け方入院し夕方死亡した急性腹症の患者があったりして、確かに救命を要する患者の一群もあります。

公衆衛生部としては、救急医療の主役を演じなければならぬ二次収容病院がその機能を充分発揮でき、しかも西多摩地区全体としての休日夜間診療体制がとれるようにするにはどうしたらよいか再三部会を開いて検討した結果、救急医療の原点に立ち返って休日夜間も一次・二次に分けて体制を作り直すということになり、次のような医療機関に依頼、10月より実施することになりました。

一次……井上・栗原・清水・進藤・中村

西村・箱崎・松原の各医院

二次……大聖・目白第二・福生・阿伎留

の各病院

今回は8月中旬よりこの作業を始め9月初めにはもう10月～12月分のスケジュール表を提出しなければならないという切迫した状態にあったため、会員各位に相談する時間的余裕もなく公衆衛生部として独自で選択させて頂いたわけで、参加を願った医院の中からも二次で手を挙げてしまったと同様の事態が起こり翌日の診療に支障を来すのではないかという御意見も出されましたが、地域医療のためということで犠牲覚悟で参加を頂いた次第である。

救急医療体制は医師会としても尚暗中模索の状態であって、都にスケジュール表を提出する都度体制が変わっているような始末で更に多少の変遷を経なければならぬと思いますが、今後は多くの方々の御参加を願い数ヶ月に1回ということを目標に体制を作り上げて行きたいと考えています。会員各位の御理解と御協力を切にお願いする次第です。本体制を一般に公開すれば、やがては必ず軽症患者の殺到ということになり、折角造り直した体制も再び崩壊する破目になりますので今回より末公開を原則とし、真に救急を要し医療を受け難い状態にある患者は必ず119番する筈でありますので、消防署以外には知らせないことに決まりました。

プロ棋士指導碁会

9月18日(日) 日本棋院の河合哲之五段をお招きして、下記の通り指導碁会を催しました。

第1回(10:30～12:00)

甲斐三段	4目置いて	中押負
林 初段	6目置いて	中押負

第2回(12:30～14:30)

甲斐三段	4目置いて	中押勝
鈴木三段	5目置いて	中押負
小林二段	6目置いて	中押負
林 初段	6目置いて	中押負

今回は他の行事と重なった為か、参会者が少なかったのは残念でした。

医師会日誌

会員数	212名	A会員	131名
		B会員	81名

会議

9月8日	役員協議会
13日	会報委員会
14日	休日夜間診療懇談会
20日	総務部会
21日	休日夜間診療説明会
28日	理事会

講演会・その他

9月7日	整備会
8日	運転者講習会
14日	法律相談
"	学術講演会
20日	奇術部会
22日	学校医講習会
23日	ゴルフ部研修会
24日	麻雀大会
25日	家族・従業員旅行(ぶどう狩り)

役員出張

9月16日	三多摩庶務部会
"	都医地区会長会
21日	東京都医師会代議員会 瀬戸岡代議員・大河原代議員出席

会員通知

- 家族・従業員旅行の案内
- 西医麻雀大会
- 運転者講習会
- 日本専売公社及び国家公務員共済組合員証等の更新について
- 薬価基準の一部改正について
- 療養の給付に関する疑義解釈について
- 多額窃盗犯人の指名手配について
- 医薬品再評価を終了した医薬品の取扱について
- 会報
- 保険診療の手引
- 学術講演会案内
- 保険審査の減点についての調査のお願い

東京都医師会医療従業退職金共済 制度設立

都医代議員会に於て決定

東京都医師会 151 回代議員会は 9 月 21 日、日本医師会講堂で開催された。当日の議題は、1. 田無市医師会及び東久留米市医師会承認を求むるの件、2. 東京都医師会医療従業退職金共済制度に関する件であったが、共に協議の結果可決された。

田無市医師会(会員数 76 名)及び東久留米市医師会(56 名)の法人化に伴う独立については、既に 6 月 27 日北多摩医師会代議員会で承認され、10 月 1 日から実施の予定である。

医療従業員の退職金制度については、公立病院とか大病院については、既に法的規制によって整備・実施されているが、従来とも中小企業退職金共済制度とか特定退職共済制度等々存在するが、東京都医師会の大部分を占める開業医の間では、実施は極めて不十分でしかなかった。

最近医師会員の間から従業員の福祉とか、又確保の面からもこうした要望が多くなってきました。先日都医師会が会員を対象として行った調査でも、都医がこうした制度を実施した場合、200 名の会員中 60% がこれを利用するとのことであった。

そのため東京都医師会で東京都医師会医療従業員退職金共済制度が計画され、今回の代議員会で可決された結果、53 年 4 月 1 日から実施される

ことになりました。

内容について簡単に説明すると、積立金の種類によって A コースと B コースがある。

A コース(通常掛金)は退職支払資金を事前に蓄積する目的に適し、毎月従業員当り 1 口(1,000 円)から 10 口ま任意に積み立てる。B コース(特別掛金)は公立病院の従業員なみの退職金を全額手当する目的で、加入した時点ですでに勤務している者の退職金を、その勤務期間に対応して償却積み立ててゆく方法で、新しく採用した者については月 5,000 円づつ既に勤めている従業員についてはその年数に応じて、口数に関係なく、何年かに分割して余分に分割積立してゆく方法である。

この制度は東京都医師会の事業として行い、本制度に加入した会員は雇用する従業員について、退職引当準備金として毎月一定口数の金額を拠出する。そして被登録者が退職した時は、その拠出金額に応じて退職金を支払うことになる。

途中の被登録者の変更及び掛金の変更等もできる。

積立金は金融機関(三井信託銀行を予定している)に委託し、預貯金・信託・公社債によって運用する。(大河原)

昭和 52 年 10 月 1 日発行

発行所 西多摩医師会

東京都青梅市西分 3-103

TEL (0428) 23-2171 (代)

会報編集委員	大河原 周	平林 信隆
	松原 貞一	堤 次雄
	吉野 住雄	鈴木 修
	土田 守一	波田野洋夫
	今川 武	

赤血球の変形能を高め、 脳微小循環での血流を改善する。

脳微小循環への新しいアプローチ。
 $7.5\mu \leq 3.0\mu$ 直径 7.5μ の赤血球は、
 直径 3.0μ の毛細血管を自ら変形し
 ながら通過します。この赤血球の
 変形能を高め、脳微小循環
 の血流を改善するトレンタール。
 容れ物(血管)ではなく中身
 (血液)に着眼したヘキストの、
 新しい治療概念をもつ
 微小循環改善剤です。



微小循環改善剤<ペントキシフィリン>

トレンタール錠

健保適用



Trental

新発売



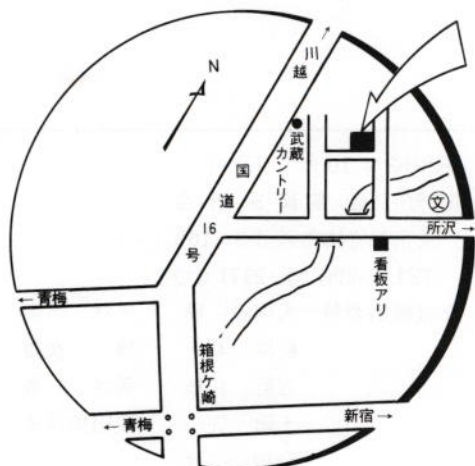
ヘキストジャパン株式会社
 医薬品事業部

東京都港区赤坂8-10-16 千107 TEL(479)5111(大代)

●詳しい用法・用量、その他の注意などは、現品添付文書(能書)をご参照ください。

期待と信頼にこたえて10年!!

検査のことなら**武蔵臨床**へ 電話一本緊急検査に応じます
 学校、会社の集検にも御利用下さい



埼玉県登録衛生検査所第12号

武蔵臨床検査所

所長 杉田 富徳

TEL 0429 (64) 2621(代)